

言語聴覚士に聞く

「サリバン先生」をめざして



「言語聴覚士」の有資格者へのニーズが増々、高まっているという。その仕事は幅広く、奥深い。今回は、7名の「言語聴覚士」が活躍する福岡市・シーサイドももちの『福岡山王病院』をお訪ねし、社会人からチャレンジして言語聴覚士になった市丸佳奈子さんにお話をうかがった。

言語聴覚士

市丸 佳奈子さん

大学卒業後、出身地・佐賀で事務職として勤務。言語聴覚士になるため、学校法人高木学園の『柳川リハビリテーション学院』に入学。3年後、言語聴覚士の国家試験に合格。2016年、『福岡山王病院』に就職し、今に至る。

言語聴覚士とは

言語、聴覚、嚥下^{えんげ}に困難がある方を対象に、医学的な知識や技能をもとに言語聴覚療法を実践し、①ことば②聞こえ③声や発声④食べる（嘔む・飲み込む）の障害に対する指導を行います。対象は小児から高齢者まで幅広く、失語症などの言語機能の回復だけでなく、認知症の方に対する生活支援なども行います。

どうしたら、なれる？

養成校で必要な単位を習得し、国家試験に合格する必要があります。福岡国際医療福祉大学の言語聴覚専攻科では2年間で国家試験の受験資格が取得可能です。入学時から学修方法や国家試験への準備など様々なアドバイスをいたします。

どこで働く？

医療機関やリハビリテーションセンター、介護・保健・福祉関連施設、教育機関、補聴器メーカー、ボイストレーナーなどからのニーズがあります。

将来の展望は？

発達障害児に関しては、受診待ちの児童がいる状況。また超高齢化社会の中で、訪問リハビリテーションにおけるニーズも拡大していくと予測されています。

屋外テラスを含め14000平方メートルの広さを持つ『福岡山王病院』リハビリテーションセンター。その一角にある言語聴覚室のドアを開けると、市丸さんが元気な笑顔で迎えてくれた。

患者層は大きく小児と成人に分かれ、市丸さんの担当は約7割が小児である。「仕事は簡単に説明すると、発達障害によって言葉の出しが遅いお子さまにコミュニケーションを教えることです。年齢は3歳から。これから言葉を獲得していく段階ですから、それをどう支援するのか、という視点を持つことが大切になります」。ヘレン・ケラーのお話をこ存知だろうか。言語聴覚士はヘレン・ケラーの手に水を触れさせ、幾度も手の平にWaterと書いて、世界のさまざまなものに名前があることを教えたサリバン先生のような役割を果たす。

最近、市丸さんが仕事の中で喜びを感じたのは、よくかんしゃくを起す子どもと向き合った時だという。「かんしゃくのタイミングをお母さんと一緒に分析し、予定

変更弱いことがわかりました。課題を始める前に、今日行う課題や最後に片付けをしたら全部終わりですよ、ということをしっかり伝え、その子がどう行動すればいいか理解できる状況を作ってあげます。それを反復することで、お母さんからも家でもかんしゃくの数が減ってきたという報告をいただきました」

自分のアプローチによって、子どもが何かをできるようになった時、その家族から喜びの声を聞いたときの達成感は、やはり何物にもかえがたい。

「学校卒業後は教職をめざしてました。その夢は叶わなかったけれど、事務職から思い切って新しい世界に飛び込んだことでそれ以上の適職に巡り合えたと思います。もちろん、サリバン先生の足元にも及びませんが、一生を賭けるつもりで極めていきたいですね」



口中の状態を診たり、きれいにするための舌圧子とスポンジブラシ。言語聴覚士の必携ツールだ。

福岡市初、高度なりハビリテーションを総合的に学べる大学

福岡国際医療福祉大学

福岡市・シーサイドももちに来春、開学!!

言語聴覚専攻科 2年課程

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3丁目6-40 TEL 092-832-1200



入試情報 ●定員/40名 ●出願資格/4年制大学を卒業または卒業見込みの方(学部・専門分野は問わず)

	入試日	出願期間(当日消印有効)
A0入試	2018年12月16日(日)	2018年11月26日(月)~12月7日(金)
一般入試	2019年2月2日(土)	2019年1月4日(金)~1月25日(金)
	2019年2月3日(日)	
	2019年3月4日(月)	2019年2月11日(月)~2月25日(月)
	2019年3月17日(日)	

医療学部同時開設/理学療法学科・作業療法学科・視能訓練学科(定員各40名)